



雪女
三ノ

ここは
おまけページ
だよ

本編は次の
ページから

え？
何でこんな
中途半端な
所にあるんだ
って？

それはね…

本編を描いた
後に扉絵を
付け足したら…

扉
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

ページが
余っちゃっ
たんだ…

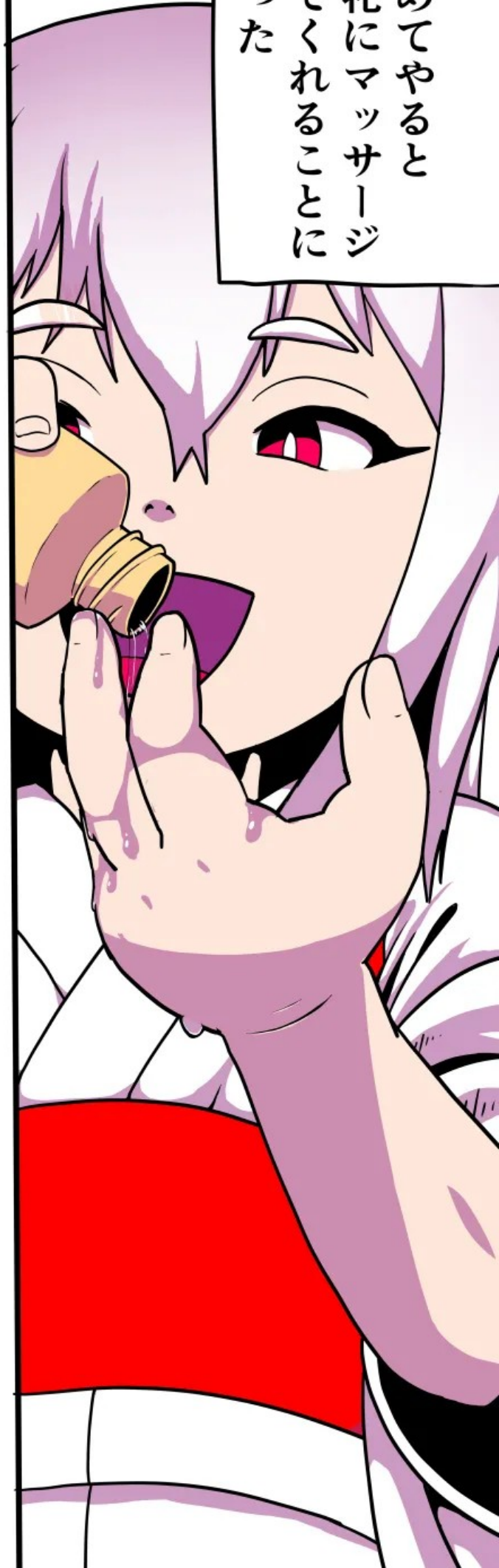


ある日
山へ出掛けると
ユキウサギが罫に
掛かっていたので
助けてやった



するとその晩
一人の娘が
宿を借りに
来た

泊めてやると
お礼にマッサージ
してくれることに
なった



Hなやつ
だった



それじゃ
もう少し太いの
挿入れますね♪

そう言くと
娘はなにかを
取り出した



「指よりもずっと
太くて柔らかい
一体なにを
入れたんだ？」

なら仕方ない

企業秘密
ですっ♪

はっ

はっ

A comic panel depicting a character with purple hair and a red collar in a state of extreme distress. The character's face is contorted in pain, with their mouth wide open in a scream. A large, white, foamy substance is being vomited from their mouth. The character's eyes are squeezed shut, and sweat is visible on their forehead. The background is a simple, light-colored surface.

喘ぎ声と共に
熱いものが
腸内に吐き
出された

はあ…はあ…
終わりましたよ…

娘はそう
言うとな
へたり込んだ

その姿は
異様に艶か
しかった



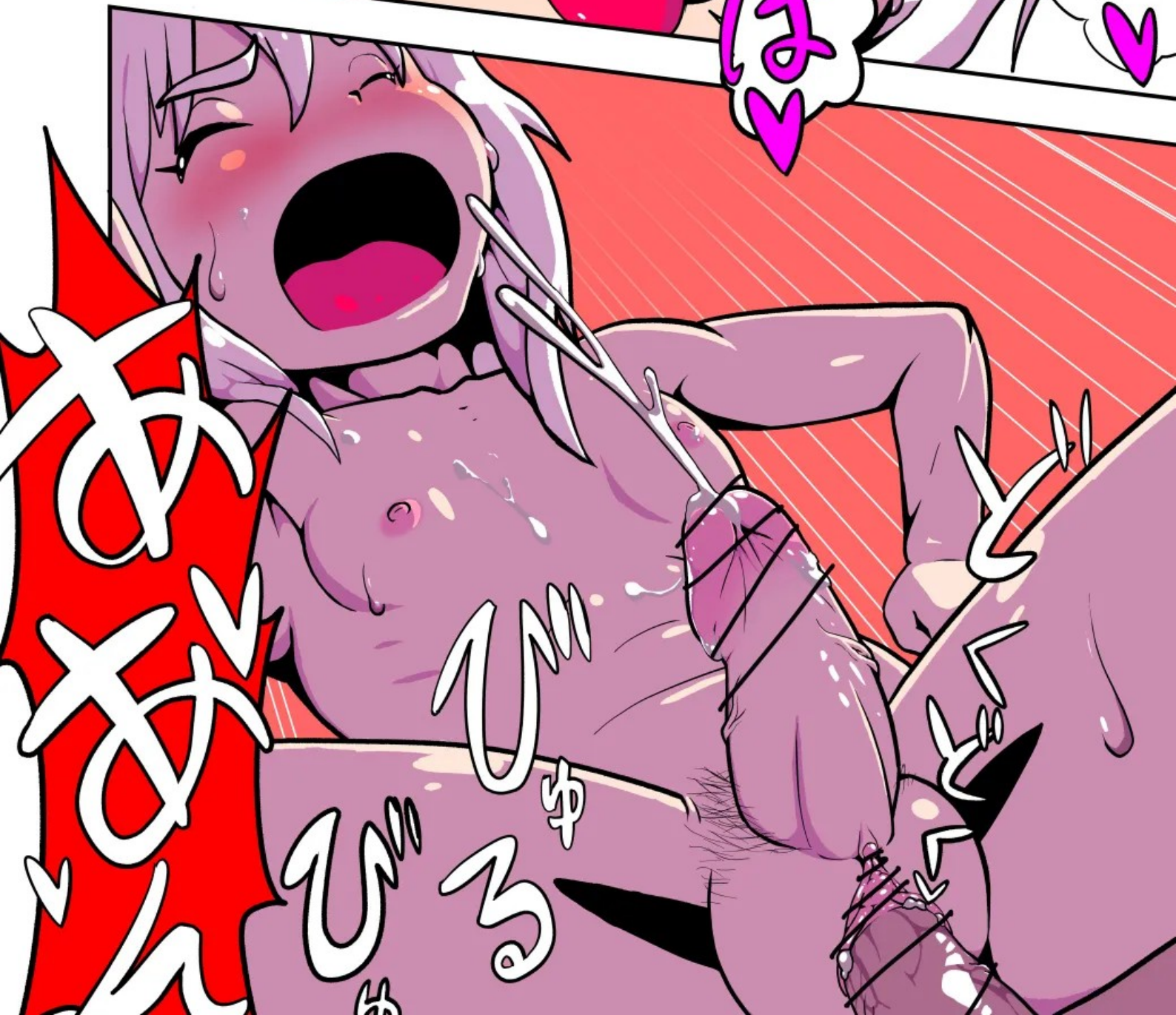
たまらず
口を吸った



娘は受け
入れて
くれた

ムケムケ

ふふ



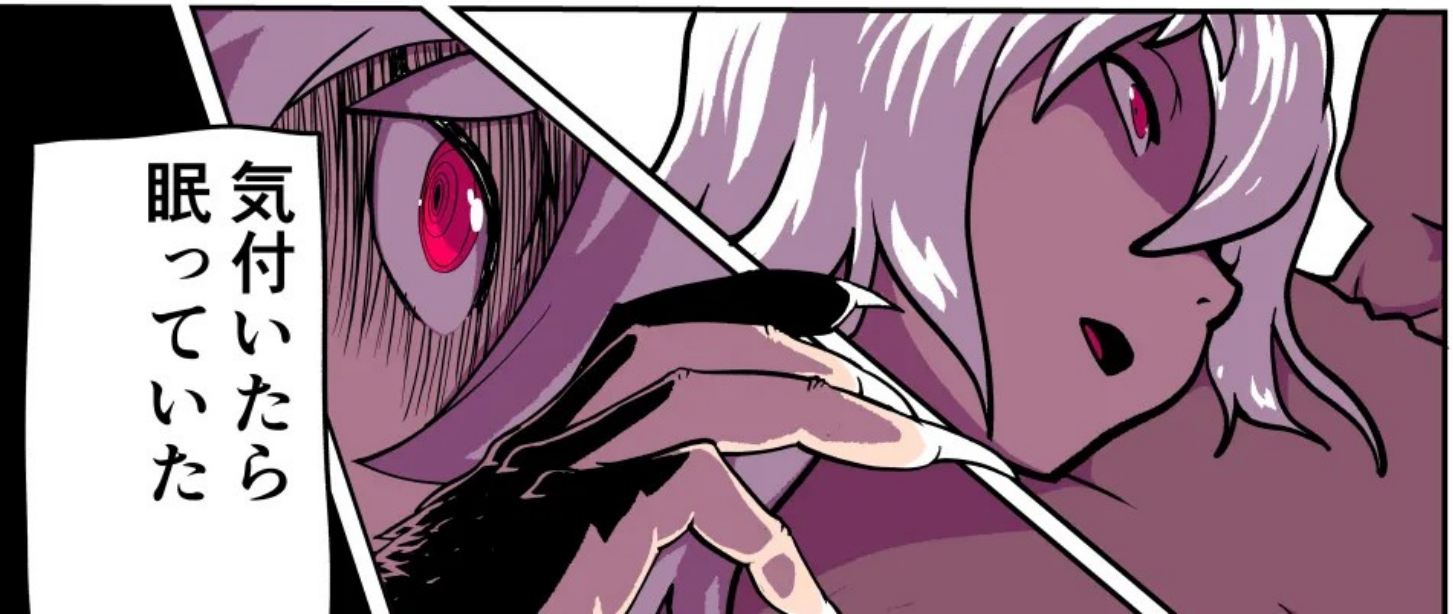


一息ついたところ
でさっきから
気になってる
事を聞いた



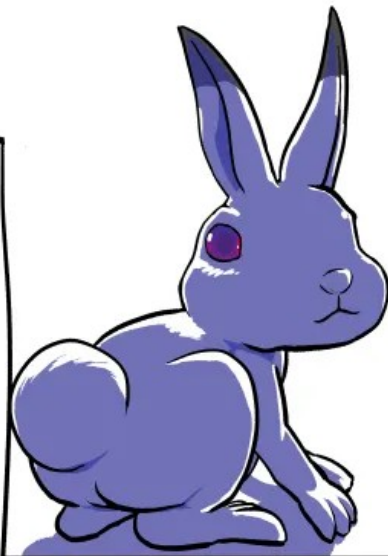
「お前 昼間 助けた
ユキウサギじやろ」

ヤっき 耳生えてたし...



気付いたら
眠っていた

次の日 目覚めると
娘の姿は無く
その代わり 玄関に
一羽のユキウサギ
が居た



ユキウサギはこちらに
気付くとどこへともなく
去ってしまった